

体験学習選抜(商船学科)とは

体験学習選抜は、提出された調査書、志望理由書と、本校が行う体験学習、感想文、面接の総合判定により入学者を選抜します。

令和6年度 体験学習選抜の概要

募集人員

体験学習選抜と推薦選抜を合わせて、各学科の入学定員の85%を超えないものとします。

出願資格

下記の各要件に該当し、特に船・海に興味があり、本校への入学意志が強固な者とします。

(1) 次のいずれかに該当する者

①令和6年3月に中学校卒業見込みの者

②令和6年3月に義務教育学校を卒業見込みの者

③令和6年3月に中等教育学校の前期課程を修了見込みの者

④令和6年3月に文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者

(2) 商船学科の「身体基準」を満たす者

(3) 学業成績が、中学校第2学年と第3学年において9科目の評定がすべて3以上であること。

※体験学習選抜に出願する者は、推薦選抜に出願することはできません。

入試日程

(1) Web 出願エントリー期間

令和5年12月 7日(木)～12月20日(水)

(2) 願書受付期間

令和5年12月14日(木)～12月20日(水)

(3) 検査日

令和6年 1月13日(土)

(4) 合格発表日

令和6年 1月19日(金)

選抜の実施方法

提出された調査書、志望理由書及び本校が行う体験学習、感想文、面接の総合判定により行います。

詳細は「令和6年度学生募集要項」をご覧ください。

令和3年度

●テーマ
船で運ばれるものについて知ろう！

●用意されるもの
物品カード、書類ケース、参考資料など



●体験学習の内容
私たちの生活で欠かせない様々なものは、船や航空機で外国からも運ばれてきます。しかし、日本国内の生態系や日本に住む人々にとって有害な虫や病気も運んでくることもあります。そこで、「船で運ばれるもの」について貿易と検疫（検査）の授業を聞き、検査が必要となるものと、その理由、また検査をしなければどのような危険があるのかを、実際に物品名を挙げ考察します。初めに講義形式で船での輸出入と、それにまつわる検査について学習します。次に、グループに分かれて1人ずつ異なる物品の絵が描かれたカードを使用し、その描かれた物品に検査が必要かグループで話し合いをします。

●出題のねらい
船員にとって自分で考えたことをわかりやすく説明し、仲間に理解してもらおうとすることはとても大切です。課題をグループ単位でこなしてもらい、どのように役割分担をするか、それぞれの役割を積極的にこなしているか、課題をどのように協力して解決していくか、そのプロセスを重視します。リーダーシップや協調性、前向きな姿勢、コミュニケーション力を評価します。

●ここがポイント！
日頃から自分の身近なものに対して疑問を持ち、なぜだろうと考えることは船乗りとして大切です。グループで話し合い、課題点を見つけて協力して考えを出し、異なる意見をまとめられるか、またそれを最後までやり遂げられるかが重要です。

この選抜で与えられる課題は、正解を得ることが目的ではありません。各自が一生懸命考え、互いに意見を交わしあい、グループ内でコミュニケーションをとれることが重要となります。

令和4年度

●テーマ
船の世界を学ぼう

●用意されるもの
参考資料、メモ用紙など



●体験学習の内容
船の世界では、安全に物や人を運ぶために色々な法律、ルール、決まりがあります。目に見える境界がない海を行き来する船は、世界共通の沢山のルールを守っています。そこで、船を運航するための役割分担、船員としての資格・資質、船を安全に運航する際に必要なルール、の3つのテーマについて考えてもらいます。それぞれのテーマについて、まず、船に関する様々なデータ、教科書、法律などの用意された参考資料を用いて個人としての意見をまとめます。次にグループディスカッションを行って、個人の意見を共有します。最後にテーマに対するグループとしての答えを導きだしてもらいます。

●出題のねらい
船員は、船という限られた空間で仲間と仕事・生活を共にします。したがって、自分で考えたことをわかりやすく説明し、仲間に理解してもらおうとすることはとても大切です。設定されたテーマについて自分の考えをまとめ、グループディスカッションをすることで、テーマに対する答えまでどのようにたどり着けるのか、そのプロセスを重視します。リーダーシップや協調性、前向きな姿勢、コミュニケーション力を評価します。

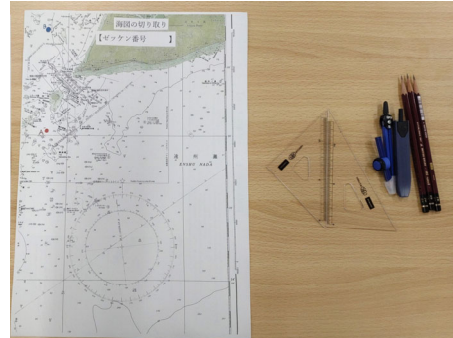
●ここがポイント！
普段何気なく生活している中にも船乗りとして大切なことが色々あります。課題点を見つけ、グループで協力しながら話し合い、異なる意見をまとめて解決策にたどり着くことが重要です。

この選抜で与えられる課題は、正解を得ることが目的ではありません。各自が懸命に考え、互いに意見を交わしあえること、グループ内の誰とでもコミュニケーションをとれることが重要となります。

令和5年度

●テーマ
航海計画をつくろう！

●用意されるもの
海図、航海用具、参考資料、メモ用紙など



●体験学習の内容
今回は、商船系学校を卒業後すぐに就職先船会社から三等航海士として要求される業務の一つ「航海計画」について講義にて学習してもらいます。次に、各自で航海計画を立案した後に、各グループで各自が定めた航行予定線の是非を議論し合い、最終的に一つの航海計画にまとめてもらいます。講義では、一般地図と異なる海図の扱い方、航海士が業務で使用する水路書誌のうち航海計画で最も活用される水路誌の利用方法、そして海図上への情報記入に使用する井上式三角定規・デバイダー・コンパス・鉛筆の持ち方等を学習してもらいます。

●出題のねらい
どの職種もそうですが船船運航業務はとくに、船員同士で助け合って運航に差し障る問題に対して答えを導き出さなければならないといった、船舶という閉鎖的な環境で実施されます。この助け合いに肝要な協調性やコミュニケーション力はもちろんのこと、船員各自のリーダーシップや前向きな姿勢といった船員の資質を評価します。評価については、今回のテーマである航海計画をどのようにまとめられるか、そのプロセスを重視します。

●ここがポイント！
この選抜課題は、正解にたどり着くことを目的としていません。課題といった一つの疑問についてどこまで粘り強く最適な解決策を案ぜられるかを目的に、どれだけ各自が懸命に考えられるか、適切にコミュニケーションをとれるかがこの選抜での課題では重要となります。

課題に取り組むという点で緊張されるかと思いますが、議論の場でリラックスした状態で発言できることも重要となります。